

# つくる

休日を利用してDIYを楽しむ、料理の腕を振るう、庭づくりに勤しむ。芸術作品や、自然がつくり出した風景を目当てに出かける。さらには、目に見えない人間関係をつくることも…。  
私たちにとって身近なつくること、つくられるものに関する本をまとめて紹介！



## 『そこに工場があるかぎり』

小川洋子／著 集英社 2021年

「長年抱き続けている工場への思い入れを、本の形にして記したい。子どもの私が味わったあの瑞々しい体験を、作家になった今の自分の言葉でよみがえらせてみたい。」この願いを叶えるため、著者は6つの工場を訪れた。

- ・〈細穴屋〉の仕事とは？
- ・製造ライン上に、許された人以外決して入れない「開かずの扉」があるお菓子とは？
- ・ボートとカヌーの違いとは？
- ・幼児を数人乗せて運べる、リヤカーに似た乗り物の正式名称とは？
- ・そもそも、ガラスとは？
- ・鉛筆メーカーが考えた、「短くなった鉛筆のいい使い道」とは？

熱意あふれるものづくりの現場を垣間見ながら、それぞれの答えを探してみては。



## 『めぐり逢いサンドイッチ』

谷瑞恵／著 KADOKAWA 2019年

『ピクニック・バスケット』は、仲良し姉妹・笹子と落子が営むサンドイッチ専門店。いちばんのおすすめは、卵焼きをはさんだタマゴサンド。しかしある日、目の前にある公園のゴミ箱に、手つかずのタマゴサンドが捨てられていた。

異物混入？それとも、ゆで卵じゃなかったから？

「卵焼きはお母さんの味。家庭料理の定番だからこそ、誰かにとってもお母さんを思い出す味になるかもしれない。」こう考えてつくった笹子は困惑し、落子もショックを隠せない。

でも、実は、捨てた人にも、タマゴサンドをきっかけに思い出した「誰か」がいて…。

「誰かが、いつかどこかで食べた味、そんなものがサンドイッチになって、この店に並ぶ。誰かとの再会を待っている。」過去と現在を、人と人をつなぐサンドイッチにまつわる物語。続編の『語らいサンドイッチ』（KADOKAWA 2020年）、『ふれあいサンドイッチ』（KADOKAWA 2023年）もどうぞ。

## これもつくれる!?

### ◇『おもしろ張り子』

前田ビバリー／著 グラフィック社 2017年

粘土、新聞紙、和紙、のり、絵の具。張り子づくりの材料はこの5つだけ。  
伝統的な図案に加えて、つくり方も写真入りでわかりやすく説明。

### ◆『もしもごはんーかんたん時短、「即食」レシピ 災害時に役立つ』

今泉マユ子／著 清流出版 2016年

災害時でも日常と同じ食事ができるよう、備蓄に適した食材を使ったレシピを紹介。  
火も水も包丁も使わないレシピやポリ袋調理は、普段にもアウトドアにも便利。

### ◇『「マニュアル」をナメるな！ー職場のミスの本当の原因』

中田亨／著 光文社 2019年

ミスが多発する職場ではダメなマニュアルが使われていることも。  
作業手順の設計法から文章作法まで、役立つマニュアルのつくり方を具体的に解説。

### ◆『水を縫う』

寺地はるな／著 集英社 2020年

裁縫が得意な清澄は、姉のウエディングドレスをつくることに。  
でも、なかなか気に入ってもらえなくて…。

## あれがつくられたのは…

### ◇『発見！不思議の国のアリスー鉄とガラスのヴィクトリア時代』

寺嶋さなえ／著 彩流社 2017年

鉄道やカメラなど、今では生活の一部となったものが数多く生まれたヴィクトリア時代。  
アリスの物語とともに、挿絵にも描かれた当時の文化・流行をたどる。

### ◆『昭和ノスタルジー解体ー「懐かしさ」はどう作られたのか』

高野光平／著 晶文社 2018年

1974年から2005年までの約30年間に形づくられた「昭和ノスタルジー」。  
マンガ、雑誌、音楽などを取り上げながら、世代を超えた一大ブームを考察。

### ◇『日本列島の「でこぼこ」風景を読む』

鈴木毅彦／著 ベレ出版 2021年

日本は「100パーセント」山からできている？  
関東平野の「でこぼこ」は水がつくった？  
日本の風景を変化に富むものにしていくという「でこぼこ」の歴史に迫る。



令和6年5月

編集・発行：さいたま市立与野図書館（さいたま市中央区下落合 5-11-11）

TEL 048-853-7816 FAX 048-857-1946